

## 平成26年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月22日

上場取引所 東

上場会社名 ウチダエスコ株式会社

コード番号 4699 URL <http://www.esco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江口 英則

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 久保 博幸

四半期報告書提出予定日 平成25年12月3日

TEL 047-382-4141

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年7月期第1四半期の連結業績(平成25年7月21日～平成25年10月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年7月期第1四半期	3,149	0.8	216	△13.9	221	△13.5	137	△7.5
25年7月期第1四半期	3,124	△0.2	251	51.9	256	52.3	148	65.0

(注) 包括利益 26年7月期第1四半期 139百万円 (△7.2%) 25年7月期第1四半期 149百万円 (69.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年7月期第1四半期	38.19	—
25年7月期第1四半期	41.30	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年7月期第1四半期	8,506	3,544	41.7
25年7月期	8,672	3,477	40.1

(参考) 自己資本 26年7月期第1四半期 3,544百万円 25年7月期 3,477百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年7月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年7月期	—	—	—	—	—
26年7月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年7月期の連結業績予想(平成25年7月21日～平成26年7月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,200	5.2	390	△5.3	400	△4.6	235	△2.8	65.35
通期	12,500	2.5	790	△1.0	800	△1.3	470	0.0	130.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年7月期1Q	3,600,000 株	25年7月期	3,600,000 株
② 期末自己株式数	26年7月期1Q	4,423 株	25年7月期	3,473 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年7月期1Q	3,596,290 株	25年7月期1Q	3,596,527 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、生産の緩やかな増加、設備投資の持ち直し、底堅い個人消費並びに財政出動による公共投資の増加など、内需主導による緩やかな回復基調で推移しました。

このような環境下、当連結グループは、当連結会計年度より第9次中期経営計画（平成26年7月期～平成28年7月期）をスタートさせています。基本方針として「クラウド事業の推進（新セグメントの立ち上げ）」、「パートナー開拓の推進と連携強化」、「マルチベンダーサポートの推進」並びに「経営体質の強化」を掲げ、その実現に向けて、事業分野ごとに定めた初年度目標の達成に取り組んでいます。

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、ソフトウェアサポート事業においてコスト統制により業績が改善するなか、フィールドサポート事業において売上高は増加しましたが、それを上回って外注費等の原価が増加し、また、オフィスシステム事業において売上高は前年同四半期の水準ながら、利益率が低下した結果、売上高は31億4千9百万円（前年同四半期比0.8%増）、営業利益は2億1千6百万円（同13.9%減）、経常利益は2億2千1百万円（同13.5%減）、四半期純利益は1億3千7百万円（同7.5%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間における事業別概況は次のとおりであります。

#### (フィールドサポート事業)

営業力強化による量の拡大（マルチベンダー保守の推進）、新規パートナーの開拓（仮想化構築案件を含むクラウド事業の拡大）、更なるクラウド関連技術者の育成並びに外部協力会社との連携強化等に取り組んでいます。

当第1四半期連結累計期間の業績は、学校市場や民間市場におけるICT案件を着実に受注、売上増につなげましたが、外注費等の増加により取引採算が低下した結果、売上高は20億9千8百万円（前年同四半期比2.0%増）、営業利益は2億3千2百万円（同22.3%減）となりました。

#### (オフィスシステム事業)

売上拡大に向けた販促活動の強化、オフィス設計・施工とICTを統合したワンストップソリューションの推進並びにWebビジネス（Net2B）の推進等に取り組んでいます。

当第1四半期連結累計期間の業績は、OAサプライは堅調に推移、売上増となりましたが、オフィス内装工事、オフィス家具等の売上が低調に推移したため、事業全体の利益率が低下した結果、売上高は8億1千4百万円（前年同四半期比1.0%減）、営業利益は1千1百万円（同60.3%減）となりました。

#### (ソフトウェアサポート事業)

プロジェクト案件の見積り精度の向上、プロジェクト管理システムの運用徹底によるサポート品質の向上並びに営業活動の強化による受注拡大に取り組んでいます。

当第1四半期連結累計期間の業績は、プロジェクト管理の徹底によるコスト統制に努めた結果、売上高は2億3千6百万円（前年同四半期比2.8%減）と微減ながら、営業損失は2千7百万円（前年同四半期は営業損失7千6百万円）と、赤字幅が大幅に縮小いたしました。

(注) 当第1四半期連結累計期間において、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、添付資料9ページ「4. 四半期連結財務諸表(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」 「II 当第1四半期累計期間」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

従いまして、前ページの前年同四半期との比較では、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、85億6百万円と前連結会計年度末比1億6千6百万円減少しました。これは流動資産が、受取手形の増加(9千6百万円)、繰延税金資産の増加(5千1百万円)等はありませんでしたが、売掛金の減少(2億9百万円)、現預金の減少(1億7千8百万円)等により前連結会計年度末比1億6千3百万円減少し、固定資産が、3百万円減少したことによります。流動負債は、賞与引当金の増加(1億7千1百万円)、支払手形の増加(1億6千5百万円)等はありませんでしたが、買掛金の減少(2億6千4百万円)、短期借入金の減少(1億5千万円)、未払法人税等の減少(9千2百万円)等により前連結会計年度末比2億4千2百万円減少し、固定負債は、9百万円増加しました。純資産は、35億4千4百万円と前連結会計年度末比6千6百万円増加しました。この結果、自己資本比率は、41.7%と前連結会計年度末比1.6ポイント上昇しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年7月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績見通しは、平成25年8月29日付「平成25年7月期決算短信」にて公表しました数値からの変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年7月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年10月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,475,229	3,297,179
受取手形及び売掛金	3,078,071	2,965,042
電子記録債権	41,102	37,407
商品	46,466	49,895
仕掛品	105,665	137,194
原材料及び貯蔵品	6,197	6,883
繰延税金資産	191,960	243,771
その他	57,229	101,171
貸倒引当金	△1,557	△1,459
流動資産合計	7,000,365	6,837,086
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	273,666	269,289
工具、器具及び備品（純額）	38,303	41,014
土地	737,854	737,854
リース資産（純額）	24,555	23,840
有形固定資産合計	1,074,379	1,071,998
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	74,948	82,511
敷金及び保証金	134,419	133,433
繰延税金資産	305,322	303,149
その他	24,639	22,822
貸倒引当金	△6,046	△3,780
投資その他の資産合計	533,283	538,135
固定資産合計	1,672,381	1,669,374
資産合計	8,672,746	8,506,461

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年7月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年10月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,662,202	1,562,745
短期借入金	260,000	110,000
リース債務	2,860	2,860
未払金	164,227	152,397
未払費用	364,111	356,614
未払法人税等	241,115	148,279
前受金	1,073,244	1,094,256
賞与引当金	373,962	545,823
工事損失引当金	255	—
その他	142,822	69,716
流動負債合計	4,284,803	4,042,694
固定負債		
退職給付引当金	866,026	875,386
役員退職慰労引当金	12,465	13,099
リース債務	21,694	20,979
長期未払金	10,252	10,252
固定負債合計	910,438	919,718
負債合計	5,195,241	4,962,412
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	334,000	334,000
資本剰余金	300,080	300,080
利益剰余金	2,837,946	2,903,363
自己株式	△1,303	△1,991
株主資本合計	3,470,723	3,535,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,781	8,596
その他の包括利益累計額合計	6,781	8,596
純資産合計	3,477,504	3,544,048
負債純資産合計	8,672,746	8,506,461

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月21日 至平成24年10月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月21日 至平成25年10月20日)
売上高	3,124,140	3,149,149
売上原価	2,168,091	2,261,822
売上総利益	956,049	887,326
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	3,843	3,591
給料及び手当	303,257	286,197
賞与引当金繰入額	92,481	85,430
退職給付費用	23,670	22,118
役員退職慰労引当金繰入額	672	187
福利厚生費	29,319	28,556
賃借料	29,075	27,872
減価償却費	15,290	13,262
その他	206,819	203,375
販売費及び一般管理費合計	704,428	670,593
営業利益	251,620	216,733
営業外収益		
受取利息	56	162
受取配当金	2,649	3,504
受取手数料	1,759	807
受取保険金	154	12
負ののれん償却額	81	—
その他	1,481	1,502
営業外収益合計	6,182	5,990
営業外費用		
支払利息	706	451
その他	320	282
営業外費用合計	1,026	733
経常利益	256,777	221,989
特別損失		
固定資産除却損	22	191
特別損失合計	22	191
税金等調整前四半期純利益	256,754	221,798
法人税、住民税及び事業税	176,931	139,418
法人税等調整額	△68,698	△54,968
法人税等合計	108,232	84,450
少数株主損益調整前四半期純利益	148,522	137,347
四半期純利益	148,522	137,347



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月21日 至平成24年10月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月21日 至平成25年10月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	148,522	137,347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,435	1,815
その他の包括利益合計	1,435	1,815
四半期包括利益	149,957	139,162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	149,957	139,162
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年7月21日 至平成25年10月20日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年7月21日 至平成25年10月20日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年7月21日 至平成24年10月20日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	フィールド サポート事業	オフィス システム事業	ソフトウェア サポート事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,058,209	822,802	243,128	3,124,140	—	3,124,140
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,650	1,976	65,098	102,724	△102,724	—
計	2,093,859	824,779	308,226	3,226,865	△102,724	3,124,140
セグメント利益又は損失(△)	298,955	28,964	△76,299	251,620	—	251,620

(注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益の調整額はありません。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年7月21日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更したため、報告セグメントの減価償却方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更に伴う各セグメント利益及び損失に与える影響は軽微であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成25年7月21日 至平成25年10月20日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	フィールド サポート事業	オフィス システム事業	ソフトウェア サポート事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,098,450	814,361	236,337	3,149,149	—	3,149,149
セグメント間の内部売上高 又は振替高	53,488	2,472	92,461	148,422	△148,422	—
計	2,151,938	816,834	328,798	3,297,571	△148,422	3,149,149
セグメント利益又は損失(△)	232,274	11,489	△27,030	216,733	—	216,733

- (注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益の調整額はありません。  
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社連結子会社であります(株)ユーアイ・テクノ・サービスと(株)エスコ・アシストは平成25年1月21日付で(株)ユーアイ・テクノ・サービスを存続会社とした吸収合併を行いました。これに伴い事業セグメントの区分方法を見直し、当第1四半期連結会計期間より、従来「フィールドサポート事業」に区分しておりました(株)エスコ・アシストを(株)ユーアイ・テクノ・サービスの「ソフトウェアサポート事業」へ区分を変更いたします。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。